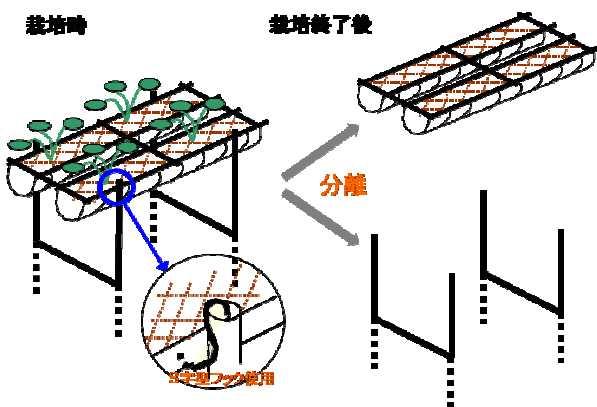


# 夏秋イチゴでも高設栽培ができます

岐阜県における夏秋イチゴは、冬期に豪雪で知られる奥美濃及び飛騨地域で栽培されています。高設ベンチ栽培は土耕栽培における屈み作業姿勢を改善できることから、平坦部の冬春イチゴ栽培では普及しつつあります。しかし、豪雪地域では、ベンチの水平パイプ部分等が積雪荷重や融雪時の引っ張りで倒壊する恐れがあり導入が難しい状況にあります。そこで、当センターでは冬期などに移動させることが可能な高設ベンチを全農岐阜県本部と共同で開発しました。



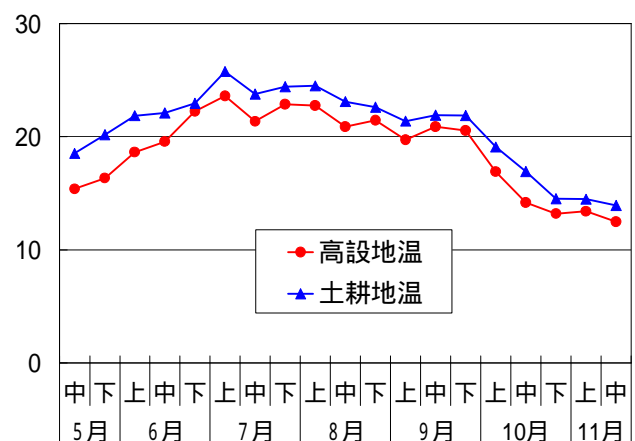
可搬式高設ベンチの構造



可搬式を可能にするS字フック



可搬式高設ベンチでの栽培状況



平均地温の推移 (H16, 高鷲)

## (研究成果)

- ・可搬式高設ベンチは、栽培終了後（冬期）に栽培槽部分を分離し、倉庫等で重ねて保管が可能です。栽培槽部分は、不織布シートなどの軽量部材を材料としてあり、1人で運搬が可能です。
- ・10aあたりのベンチ資材費は、約100万円です。
- ・土耕栽培に比べて夏期の地温上昇が抑制されるため、生育促進が期待できます。
- ・本システムは全農岐阜県本部で施工販売しています。